

結成 15 周年を全員で祝福 会員拡大の方針などを確認

通信員 徳永 良信

JAM兵庫シニアクラブ（中下恵司会長・会員 222 人）の第 15 回定期総会が 10 月 20 日午前 10 時から全労済兵庫県本部 5 階大ホールで開かれ、会員 60 人、来賓 22 人が出席。結成 15 周年記念を祝うと共に 2018 年度の活動計画(案)や 2018・19 年度の役員体制（中下恵司会長ほか全員留任）、「労働基準法の改悪に反対する」署名活動などすべての議案を満場一致で決めた。

2018 年度の主な活動計画(案)は、①会員の拡大→現役役員の協力を得て、退職者への加入の働きかけで会員拡大に努める。②85 歳まで安心、安全、有利に保障される JAMシニア共済への加入促進に努める。③上部団体へ役員を派遣する。④会員からの年金、共済、法律、医療などの相談に応じ世話役活動を行う。⑤幹事会と JAM山陽兵庫県連絡会との新年懇談会。シニアクラブと共催でゴルフコンペへの参加で交流を深める。⑥兵庫退連及び連合兵庫主催の「川柳」祭典に積極的に参加。⑦安心、信頼の社会保障を目指し、連合や JAMが取り組む政策制度改善への取り組み、要請された各種署名活動にも積極的に参加、行動する。⑧連合兵庫、JAM山陽兵庫連絡会の選挙活動を積極的に支援する。⑨ JAM参議院比例区組織内候補予定者「田中ひさや」の周知活動に組織を上げて取り組んでいくとしている。

総会后、同会場で結成 15 周年を祝って、全員で乾杯。少しばかりの祝賀会を開いた。その後、別会場で来賓招待の JAMシニアクラブ大山勝也会長と橋村良夫顧問を囲んで 40 人が集まり、高齢者組織の今後の活動をどう進めていくか？など自己紹介を交えてザックバランに意見交換交流を締めくくった。

出たすぐの所の「門前」というお蕎麦屋さんで、今年度から新会長となった長岡さんの乾杯でスタート。肌寒さの中での散策でしたが、ビールもおいしく話も弾み、名物の深大寺蕎麦に皆さんご満足の様子。食後のデザートが済んだ頃、改めて長岡会長の締めのご挨拶をいただき、次回の「街歩き」での再会を約束しながら解散した。